

This Page Is Inserted by IFW Operations  
and is not a part of the Official Record

## **BEST AVAILABLE IMAGES**

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images may include (but are not limited to):

- BLACK BORDERS
- TEXT CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES
- FADED TEXT
- ILLEGIBLE TEXT
- SKEWED/SLANTED IMAGES
- COLORED PHOTOS
- BLACK OR VERY BLACK AND WHITE DARK PHOTOS
- GRAY SCALE DOCUMENTS

**IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.**

**As rescanning documents *will not* correct images,  
please do not report the images to the  
Image Problem Mailbox.**

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平7-214948

(43) 公開日 平成7年(1995)8月15日

(51) Int.Cl. <sup>8</sup>	識別記号	序内整理番号	F I	技術表示箇所
B 4 2 D 15/02	5 0 1 B			
15/08	D			

審査請求 未請求 請求項の数 6 F D (全 11 頁)

(21) 出願番号 特願平6-27360

(22) 出願日 平成6年(1994)1月31日

(71) 出願人 000110217

トッパン・ムーア株式会社

東京都千代田区神田駿河台1丁目6番地

(72) 発明者 鈴木 仁

東京都日野市豊田4-18-3

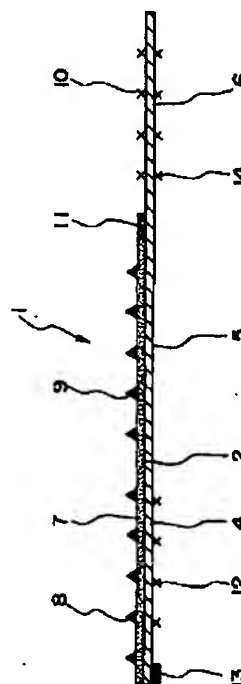
(74) 代理人 弁理士 千葉 太一

(54) 【発明の名称】 表裏両面にプリント情報を有する折り畳み用シート及びその作成方法

(57) 【要約】

【目的】 折り畳み用シートの表裏両面にプリントした表示情報が、表裏面に対応しているかどうかを、情報内容を見ることなく、折り畳み状態で確認する。

【構成】 往復葉書用シートである折り畳み用シート1の隠蔽部4と通知情報記載部5の折り用ミシン目2での重ね合わせ面には、接着後に剥離可能な感圧性接着剤層7を設けて隠蔽情報8、9をプリントし、同一面側の返信用葉書片6には返信通知情報10と確認マーク11をプリントし、隠蔽部4の表出面には往信用宛名情報12と確認マーク13をプリントし、同一面側の返信用葉書片6には返信用宛名情報14をプリントし、各確認マーク11、13はそれぞれ同一面側のプリント情報またはシートのプリント順に対応ずけてプリント位置が上端から同一距離となるよう設定し、折り用ミシン目2で折り重ねた時に、表裏面のプリント情報が対応すれば両マーク11、13が並列状態に位置するようにする。



## 【特許請求の範囲】

【請求項1】 折り部を有するシートの表裏両面の適所に所望の表示情報をプリントし、この表示情報の内容あるいはシートのプリント順と表裏面毎に対応ずけた表裏一対の確認マークを、前記シートを前記折り部で折り畳んだ時に並列状態で位置するように表裏面に設けたことを特徴とする表裏両面にプリント情報を有する折り畳み用シート。

【請求項2】 折り部を有するシートの表裏両面の適所に所望の隠蔽する必要のない表示情報をプリントする一方、折り時に重なり合うべき面の少なくとも一面側には隠蔽情報をプリントするとともに、この重なり合うべき面にはこれを剥離可能に接着するための接着構造を設け、前記表示情報あるいは前記隠蔽情報の内容あるいはシートのプリント順と表裏面毎に対応ずけた表裏一対の確認マークを、前記シートを前記折り部で折り畳んだ時に並列状態で位置するように表裏面に設けたことを特徴とする表裏両面にプリント情報を有する折り畳み用シート。

【請求項3】 シートを切り取り部を介して多数接続した連続状態となすとともに、隣接するシートには同一性を有しない確認マークを設けたことを特徴とする請求項1または請求項2記載の表裏両面にプリント情報を有する折り畳み用シート。

【請求項4】 折り部を有するシートの表裏面に、所望の表示情報をプリントするとともに、この表示情報の内容あるいはシートのプリント順と表裏面毎に対応ずけた表裏一対の確認マークを、前記シートを前記折り部で折り畳んだ時に並列状態で位置するように、かつ、プリント順で連続するシートでは同一性を有しないように、各シートの表裏面にプリントすることを特徴とする表裏両面にプリント情報を有する折り畳み用シートの作成方法。

【請求項5】 切り取り部を介して多数接続した連続状態にある折り部を有するシートの表裏面に、所望の表示情報をプリントするとともに、この表示情報の内容あるいはシートのプリント順と表裏面毎に対応ずけた表裏一対の確認マークを、前記シートを前記折り部で折り畳んだ時に並列状態で位置するように、かつ、プリント順で連続する隣接するシートでは同一性を有しないように、各シートの表裏面にプリントすることを特徴とする表裏両面にプリント情報を有する折り畳み用シートの作成方法。

【請求項6】 折り部で折った時に重なり合うべき面を剥離可能に接着するための接着構造を設けたシートの表裏面の適所に、所望の隠蔽する必要のない表示情報をプリントする一方、前記重なり合うべき面の少なくとも一面側には隠蔽情報をプリントすることを特徴とする請求項4または請求項5記載の表裏両面にプリント情報を有する折り畳み用シートの作成方法。

## 【発明の詳細な説明】

## 【0001】

【産業上の利用分野】本発明は、表裏両面に各種の表示情報、すなわち、一般的な通知情報や宛名情報等の隠蔽する必要のない表示情報や隠蔽情報をプリントした折り畳み用シートとその作成方法に関し、葉書、往復葉書、各種通知書に適用して好適な折り畳み用シートとその作成方法に関する。

## 【0002】

【従来の技術】従来からシートの表裏両面に各種情報をプリントすることは知られているが、近年、資源の有効活用、職場や学校における用紙の使用量削減等に伴い、シートの表裏両面へのプリントが増加する傾向にある。このシートの表裏両面へのプリントは、両面プリンタを用いて一度に行う場合と、片面プリンタを用いて片面ずつ二度にわたって行う場合とがあるが、いずれのプリント方式の場合でも、プリンタの故障や、単片シートの場合のダブルフィード等の移送ミス等によって、表裏面にプリントした情報が対応しない事故が生ずる。とりわけ片面プリンタの場合には、表面と裏面とを別々にプリントするので、この事故が生じ易いものである。従来においては、この事故を発見するために、シートの表裏面へプリントした後、プリントした情報内容を目視によっていちいち確認していた。

## 【0003】

【発明が解決しようとする課題】したがって、従来においては、この情報内容の目視による確認作業が極めて煩雑であり、効率が悪いという不都合があった。本発明は、このような煩雑で効率の悪い確認作業を不要とした表裏両面にプリント情報を有する折り畳み用シート及びその作成方法を提供することを目的とする。

## 【0004】

【課題を解決するための手段】この目的を達成するために本発明の表裏両面にプリント情報を有する折り畳み用シートは、折り部を有するシートの表裏両面の適所に所望の通知情報や宛名情報等の表示情報をプリントし、この表示情報の内容あるいはシートのプリント順と表裏面毎に対応ずけた表裏一対の確認マークを、前記シートを前記折り部で折り畳んだ時に並列状態で位置するように表裏面に設けたものである。

【0005】また、他人には知られたい隠蔽情報をプリントする場合には、折り部を有するシートの表裏両面の適所に所望の通知情報や宛名情報等の隠蔽する必要のない表示情報をプリントする一方、折り時に重なり合うべき面の少なくとも一面側には隠蔽情報をプリントするとともに、この重なり合うべき面にはこれを剥離可能に接着するための接着構造を設け、前記表示情報あるいは前記隠蔽情報の内容あるいはシートのプリント順と表裏面毎に対応ずけた表裏一対の確認マークを、前記シートを前記折り部で折り畳んだ時に並列状態で位置するよ

うに表裏面に設けると好適である。

【0006】さらに、上述した構成の表裏両面にプリント情報を有する折り畳み用シートを連続状態で構成する場合には、隣接するシートには同一性を有しない確認マーク、例えば、態様の異なる確認マークや、異なる位置にある同一態様の確認マークを設ける。

【0007】上述の如き表裏両面にプリント情報を有する折り畳み用シートは、切り取り部を介して多数接続した連続状態にある、あるいは単片状態にある、折り部を有するシートの表裏面に、所望の表示情報をプリントするとともに、この表示情報の内容あるいはシートのプリント順と表裏面毎に対応づけた表裏一対のマークを、前記シートを前記折り部で折り畳んだ時に並列状態で位置するように、かつ、プリント順で連続するシートでは同一性を有しないように、各シートの表裏面にプリントして作成することができる。

【0008】また、切り取り部を介して多数接続した連続状態にある、あるいは単片状態にある、折り部を有するとともに、この折り部で折り重ねるべき面を剥離可能に接着するための接着構造を設けたシートの表裏面の適所に、所望の隠蔽する必要のない表示情報をプリントする一方、前記折り重ねるべき面の少なくとも一面側には隠蔽情報をプリントし、前記表示情報あるいは前記隠蔽情報の内容あるいはシートのプリント順と表裏面毎に対応づけた表裏一対の確認マークを、前記シートを前記折り部で折り畳んだ時に並列状態で位置するように、かつ、プリント順で連続するシートでは同一性を有しないように、各シートの表裏面にプリントして作成することができる。

【0009】

【作用】表示情報の内容あるいはシートのプリント順と表裏面毎に対応づけた確認マークを表裏面に対をなすように設けることにより、シートを折り部で折り重ねた時に、表裏に設けた一対のマークが並列状態となれば、表裏にプリントした内容が互いに対応していると目視で判断できる。

【0010】

【実施例】以下、本発明の好適な実施例を添付図面に基づいて詳細に説明する。ここにおいて、図1～図5は第1実施例を示し、往復葉書用シートに適用したもので、図1は単片状態にある折り畳み用シートの通知情報表示面側の概略的な平面図、図2はその宛名情報表示面側の概略的な平面図、図3は図1のA-A線断面図、図4は折り畳み状態を示す概略的な斜視図、図5は表裏面のプリント内容が対応していない場合の確認マークの状態を示す概略的な要部の斜視図、図6及び図7は第2実施例を示し、葉書用シートに適用したもので、図6は単片状態にある折り畳み用シートの概略的な断面図、図7は折り畳み状態を示す概略的な斜視図、図8及び図9は第3実施例を示し、三つ折りの葉書用シートに適用したもの

で、図8は単片状態にある折り畳み用シートの概略的な断面図、図9は折り畳み状態を示す概略的な断面図、図10は第4実施例を示す三つ折りシートの概略的な断面図、図11～図13は第5実施例を示し、葉書用シートに適用したもので、図11は連続状態にある折り畳み用シートの通知情報表示面側の概略的な平面図、図12は折り畳み状態を示す概略的な斜視図、図13は確認マークのプリント順を示す説明図である。

【0011】まず、図1～図5に基づき本発明の第1実施例である往復葉書用シートに適用した一例を説明する。図1～図3に示すように、折り畳み用シート1は、折り部たる折り用ミシン目2と、通知情報表示面側(図1図示側)に設けた折り兼切り取り線3によって、往信用葉書片の隠蔽部4、往信用葉書片の通知情報記載部5及び返信用葉書片6とに3等分されている。通知情報表示面側には、往信用葉書片の隠蔽部4と通知情報記載部5とに、接着後に剥離可能な接着力の弱い、かつ印字適性を有する感圧性接着剤層7が設けられて(図3参照)、この感圧性接着剤層7の上から通知すべき隠蔽情報8、9がプリントされ、返信用葉書片6には○印等により選択的に回答される隠蔽不要な返信通知情報10がプリントされるとともに、長形状の確認マーク11が折り兼切り取り線3に接する所定位置にプリントされている。この確認マーク11のプリント位置は、前記隠蔽情報8、9あるいは返信通知情報10の内容に対応ずけて、またそのプリント順、換言すると折り畳み用シート1のプリントにかけられる順番に対応ずけて、上端から何mmの位置というように決定され、他のプリントデータとともに、適宜な記憶媒体に格納される。

【0012】一方、折り畳み用シート1の宛名情報表示面側には、図2及び図3に示すように、往信用葉書片の隠蔽部4には往信用宛名情報12と、折り用ミシン目2と反対側の端縁に接した所定位置に確認マーク13がプリントされ、返信用葉書片6には返信用宛名情報14がプリントされている。前記確認マーク13のプリント位置は、上述の確認マーク11と同様に、前記往信用宛名情報12の内容に対応ずけて、またはそのプリント順に対応ずけて、上端から何mmの位置というように決定され、他のプリントデータとともに、適宜な記憶媒体に格納される。そして、両確認マーク11、13は対をなすもので、対をなす確認マーク11、13は、プリント位置である上端からの距離が同一に設定され、前記折り畳み用シート1の隠蔽部4と通知情報記載部5とを折り用ミシン目2で通知情報表示面側が重なり合うように折り重ねた際に、互いに接するような並列状態に位置する(図4参照)ものである。

【0013】上述した感圧性接着剤層7は、天然ゴム100重量部に対し、スチレン2重量部とメタクリル酸メチル10重量部とをグラフト共重合させて得られた天然ゴムラテックスに、テルペン樹脂系粘着付与剤5重量部

5

を添加して感圧性接着剤基剤とし、この感圧性接着剤基剤100重量部に対して、平均粒径 $8\mu\text{m}$ のシリカゲル60重量部を添加してなる感圧性接着剤組成物を $2\text{g}/\text{m}^2$ の塗工重量で塗工して形成したものである。この感圧性接着剤層7は、通常時には接着せず、同一の感圧性接着剤組成物同士が接した状態で所定の圧が加えられると接着可能となり、接着後に隠蔽情報8、9を破損することなく剥離可能である。

【0014】本実施例の折り畳み用シート1は、次のようにして作成する。まず、折り用ミシン目2を有するとともに、通知情報表示面側の隠蔽部4と通知情報記載部5に感圧性接着剤層7が設けられた所定枚数の単片状シートを、あらかじめプリントデータが入力されているコンピュータの出力装置であるプリンタ（図示せず）に送り、所定のデータ順にしたがって通知情報表示面側に所定情報8、9、10と、これら所定情報8、9、10の内容またはシートのプリント順に対応ずけた確認マーク11をプリントする。次いで、表裏面を反転した各シートを前述のプリント順と同一の順番でプリンタ（図示せず）に送って、所定のデータ順にしたがって宛名情報表示面側に所定情報12、14と、これら所定情報12、14の内容またはシートのプリント順に対応ずけた確認マーク14をプリントするのである。

【0015】作成された図1～図3に示す折り畳み用シート1は、プリントした通知情報表示面側の各情報8、9、10と宛名情報表示面側の各情報12、14とが対応するものであれば、折り用ミシン目2で隠蔽部4と通知情報記載部5の通知情報表示面側が重なり合うように折り重ねると、図4に示すように、対をなす確認マーク11、13が互いに接するような並列状態で位置することになる。一方、前記各情報8、9、10、12、14が互いに対応するものでない場合には、図5に示すように、確認マーク11a、13aは対をなさないもので、並列状態に位置することなくずれてしまう。したがって、所定の折り畳み状態において、確認マーク11、13の状態を目視することによって、表裏面にプリントされた情報が互いに対応するものかどうか、プリント内容を確認するまでもなく、一目で確認可能である。

【0016】本実施例では、図4状態において、隠蔽部4と通知情報記載部5とに所定の圧を加えると、その重ね合わせ面が感圧性接着剤層7によって接着され、折り兼切り取り線3で返信用宛て名情報14が内側に位置するよう折り畳むと、往復葉書が完成されて投函可能となる。一方、この往復葉書を受領した宛名人は、隠蔽部4と通知情報記載部5との接着面を剥離すると、図1及び図2状態となって、隠蔽情報8、9を視認可能となるので、返信通知情報10を選択したうえ折り兼切り取り線3で切り離して返信用葉書となし、これを投函することができる。

【0017】次に、図6及び図7に基づいて、葉書に適

6

用した第2実施例を説明する。本実施例の折り畳み用シート21は、折り部たる折り用ミシン目22によって、宛名情報記載片23と通知情報記載片24とに分かれ、通知情報記載片24の幅方向の長さが宛名情報記載片23よりも少し長く形成されている。図6に示すように、重ね合わせ面側（図6上側）には、宛名情報記載片23に接着後に剥離可能な接着力の弱い、好ましくは印字適性を有する感圧性接着剤層25が設けられ、また、通知情報記載片24に印字適性を有する接着力調整層26が設けられている。そして、この接着力調整層26の上から通知すべき隠蔽情報27がプリントされるとともに、半円形状の確認マーク28が折り用ミシン目22と反対側の端縁に接した所定位置にプリントされている。この確認マーク28のプリント位置は、前記隠蔽情報27の内容に対応ずけて、またそのプリント順、換言すると折り畳み用シート21のプリンタにかけられる順番に対応ずけて、上端から何mmの位置というように決定され、適宜な記憶媒体に他のプリントデータとともに格納される。

【0018】一方、折り畳み用シート21の表出面側（図6下側）には、図7で理解できるように、宛名情報記載片23に宛名情報29がプリントされるとともに、半円形状の確認マーク30が折り用ミシン目22と反対側の端縁に接した所定位置にプリントされている。この確認マーク30のプリント位置は、上述の確認マーク28と同様に、前記宛名情報29の内容に対応ずけて、またはシートのプリント順に対応ずけて、上端から何mmの位置というように決定され、適宜な記憶媒体に他のプリントデータとともに格納される。そして、両確認マーク28、30は対をなすもので、対をなす確認マーク28、30は、プリント位置である上端からの距離が同一に設定され、前記折り畳み用シート21の宛名情報記載片23と通知情報記載片24とを折り用ミシン目22で重なり合うように折り重ねた際に、互いに接するような並列状態に位置する（図7参照）ものである。

【0019】上述した感圧性接着剤層25は、第1実施例の感圧性接着剤層7と同一の組成物からなるが、接着力に関しては、シリカゲルの配合量及び塗工量を調節することにより、通常時には接着せず、同一の感圧性接着剤組成物同士が接した状態で、所定の圧が加えられると接着可能となる程度に設定されている。一方、上述した接着力調整層26は、微細シリカ粉末たるCabo Sperser S-109（商品名）を35.95重量部、バインダーたるVinol 540（商品名）を28.10重量部、及び水を35.95重量部の割合で配合して組成物を調製し、塗工重量を $0.4\sim 2.8\text{g}/\text{m}^2$ 、例えば $1.1\text{g}/\text{m}^2$ で塗工して形成したものである。この塗工は、フレキソ、グラビア、リバースロール、エアナイフ等の従来用いられている一般的な方法で行うことができる。なお、前記組成物で形成した接着

力調整層26によると、電子記録方式のトナーやインクを用いたプリンタによる印字に際して、トナーやインクの定着性が向上し、像の汚れ、カスレ、剥落が防止される。

【0020】上述したように、感圧性接着剤層25は、同一の感圧性接着剤組成物同士が重なり合った状態でないと接着しないが、接着力調整層26と重なり合うことによって、前記感圧性接着剤層25の感圧性接着剤基剤がこの接着力調整層26に浸透することにより接着力が増強され、接着可能となる。しかし、感圧性接着剤組成物同士が重なり合った状態ではないので、この接着状態は強固なものではなく、接着面は隠蔽情報27を破損することなく剥離可能である。

【0021】本実施例の折り畳み用シート21は、次の手順により作成される。まず、折り用ミシン目22を有するとともに、宛名情報記載片23の重ね合わせ面には感圧性接着剤層25が設けられ、通知情報記載片24の重ね合わせ面には接着力調整層26が設けられた所定枚数の単片状シートを、あらかじめプリントデータが入力されているコンピュータの出力装置であるプリンタ（図示せず）に送り、所定のデータ順にしたがって通知情報記載片24の接着力調整層26の上に隠蔽情報27と、この隠蔽情報27の内容またはシートのプリント順に対応づけた確認マーク28をプリントする。次いで、各シートの表裏面を反転したうえ、前述のプリント順と同一の順番でプリンタ（図示せず）に送って、所定のデータ順にしたがって宛名情報記載片23の表出面側に宛名情報29と、この宛名情報29の内容またはシートのプリント順に対応づけた確認マーク30をプリントするのである。

【0022】作成された図6に示す折り畳み用シート21は、プリントした表裏両面の宛名情報29と隠蔽情報27が対応するものであれば、折り用ミシン目22で宛名情報記載片23と通知情報記載片24を重ね合わせ面が重なり合うように折り重ねると、図7に示すように、対をなす確認マーク28、30が互いに接するような並列状態で位置して円形のマークを形成する。一方、前記各情報29、27が対応するものでない場合には、確認マークが対をなさないで、並列状態に位置せずにずれてしまう（図5参照）。したがって、所定の折り畳み状態において、確認マーク28、30の状態を目視することによって、表裏面にプリントされた情報が互に対応するものかどうか、プリント内容を確認するまでもなく、一目で確認可能である。

【0023】本実施例では、図7状態において、所定の圧を加えると、重ね合わせ面が感圧性接着剤層25によって接着され、葉書が完成されて投函可能となる。一方、この葉書を受領した宛名人は、宛名情報記載片23を通知情報記載片24から捲り上げて重ね合わせ接着面を剥離すると、図6状態となって、隠蔽情報27を視認

可能となる。

【0024】続いて、図8及び図9に基づき第3実施例であるジグザグ状に折り畳まれる三つ折り葉書に適用した一例を説明する。図8に示すように、本実施例の折り畳み用シート41は、折り部たる折り用ミシン目42、43によって、上紙片44と中紙片45と下紙片46とに区分され、中紙片45と下紙片46とは同一大、上紙片44はこれら両紙片45、46より幅方向の長さが少し短く形成されている。そして、前記上紙片44と前記中紙片45の重ね合わせ面側（図8左側）と、前記中紙片45と前記下紙片46の重ね合わせ面側（図8右側）には、それぞれ第1実施例の感圧性接着剤層7と同一の感圧性接着剤層47、48が設けられ、これら各感圧性接着剤層47、48の上から通知すべき隠蔽情報49、50、51、52がプリントされている。なお、前記中紙片45の感圧性接着剤層47は、折り用ミシン目43端に沿った前記上紙片44とは重なり合わない部分を除いて設けられているものである。また、前記上紙片44の表出面側には隠蔽する必要のない宛名情報53がプリントされ、前記下紙片46の表出面側には隠蔽する必要のない通知情報54がプリントされている。

【0025】さらに、上紙片44の表出面側における折り用ミシン目42とは反対側の端縁と、中紙片45の感圧性接着剤層47を設けていない折り用ミシン目43に接する部分には正方形の一对の確認マーク55、56がそれぞれ所定位置にプリントされている。前記確認マーク55のプリント位置は、宛名情報53や各隠蔽情報51、52の内容に対応づけて、またはそのプリント順、換言すると折り畳み用シート41のプリンタにかけられる順番に対応づけて、上端から何mmの位置というように決定され、適宜な記憶媒体に他のプリントデータとともに格納される。また、前記確認マーク56のプリント位置は、通知情報54や各隠蔽情報49、50の内容に対応づけて、またはシートのプリント順に対応づけて、上端から何mmの位置というように決定され、適宜な記憶媒体に他のプリントデータとともに格納される。そして、これら対をなす確認マーク55、56は、プリント位置である上端からの距離が同一に設定され、前記折り畳み用シート41を各折り用ミシン目42、43で重なり合うように所定状態で折り重ねた際に、互いに接するような並列状態に位置するものである。

【0026】本実施例の折り畳み用シート41は、次のような手順で作成する。まず、折り用ミシン目42、43を有するとともに、上紙片44と中紙片45の重ね合わせ面及び中紙片45と下紙片46の重ね合わせ面にそれぞれ感圧性接着剤層47、48が設けられた所定枚数の単片状シートを、あらかじめプリントデータが入力されているコンピュータの出力装置であるプリンタ（図示せず）に送り、所定のデータ順にしたがって上紙片44と中紙片45の感圧性接着剤層47の上に隠蔽情報4

9, 50を、下紙片46の表出面側には通知情報54を、また、前記中紙片45の前記感圧性接着剤層47を設けていない端部には前記各情報49, 50, 54の内容またはシートのプリント順に対応づけた確認マーク56を、それぞれプリントする。次いで、表裏を反転した単片状シートを前述のプリント順と同一の順番でプリンタ（図示せず）に送って、所定のデータ順にしたがい、上紙片44の表出面側に宛名情報53を、中紙片45と下紙片46の感圧性接着剤層48の上に各隠蔽情報51, 52を、また、上紙片44の表出面側の所定位置には、前記各情報51, 52, 53の内容あるいはシートのプリント順に対応づけた確認マーク55をそれぞれプリントする。

【0027】作成された図8に示す折り畳み用シート41は、プリントした表裏両面に別れて位置する宛名情報53と各隠蔽情報49, 50及び通知情報54が対応するものであれば、各折り用ミシン目42, 43で各紙片44, 45, 46を所定のジグザグ状に三つ折りすると、図9に示すように、対をなす確認マーク55, 56が並列状態で位置することになる。一方、前記各情報53, 49, 50, 54が対応するものでない場合には、確認マークが対をなさないもので、並列状態に位置することなくずれてしまう。したがって、図9に示す所定の折り畳み状態において、確認マーク55, 56の状態を目視することによって、表裏面にプリントされた情報が互に対応するものかどうか、プリント内容を確認するまでもなく、一目で確認可能である。

【0028】図9状態において、所定の圧を加えると、重ね合わせ面が感圧性接着剤層47, 48によって接着され、葉書が完成されて投函可能となる。一方、この葉書を受領した宛名人は、上紙片44及び下紙片46をそれぞれ中紙片45から捲り上げて重ね合わせ接着面を剥離すると、図8状態となって、各隠蔽情報49, 50, 51, 52を視認可能となる。

【0029】図10は三つ折りシートに関する一実施例を示し、巻き込み状に折り畳まれる三つ折りシートに適用した一例に関するものである。本実施例の折り畳み用シート61は、折り部たる折り用ミシン目62, 63によって、中紙片64と上紙片65と下紙片66とに区分され、中紙片64と上紙片65とは同一大、下紙片66はこれら両紙片64, 65より幅方向の長さが長く形成されている。すなわち、本実施例の上紙片65と中紙片64は、展開状態において、上述した第3実施例の折り畳み用シートにおける上紙片44と中紙片45の位置関係とは逆の位置関係にある。そして、前記上紙片65と前記下紙片66の表出面側及び前記中紙片64の前記上紙片65と重なる重ね合わせ面側と前記下紙片65の重ね合わせ面側には、それぞれ隠蔽する必要のない宛名情報67あるいは通知情報68, 69, 70がプリントされている。

【0030】さらに、上紙片65の表出面側における折り用ミシン目62に沿った部分と、下紙片66の通知情報70表示面側の折り用ミシン目63とは反対側の端縁には、正方形の一对の確認マーク71, 72がそれぞれ所定位置にプリントされている。前記確認マーク71のプリント位置は、同一面側の宛名情報67の内容に対応づけて、またはそのプリント順、換言すると折り畳み用シート61のプリンタにかけられる順に対応づけて、上端から何mmの位置というように決定され、適宜な記憶媒体に他のプリントデータとともに格納される。また、前記確認マーク72のプリント位置は、同一面側の通知情報70, 69の内容に対応づけて、またはシートのプリント順に対応づけて、上端から何mmの位置というように決定され、適宜な記憶媒体に他のプリントデータとともに格納される。そして、これら対をなす確認マーク71, 72は、プリント位置である上端からの距離が同一に設定され、前記折り畳み用シート61を各折り用ミシン目62, 63で重なり合うように所定状態で折り重ねた際に、並列状態に位置するものである。そして、本実施例の各通知情報69, 70は一般的なものであり、隠蔽する必要がないので、各紙片64, 65, 66の重ね合わせ面には、接着後に剥離可能な接着剤層を設けていない。

【0031】本実施例の折り畳みシート61は、次のような手順で作成する。まず、折り用ミシン目62, 63を有する所定枚数の単片状シートを、あらかじめプリントデータが入力されているコンピュータの出力装置であるプリンタ（図示せず）に送り、所定のデータ順にしたがって上紙片65と下紙片66の表出面側に通知情報67, 68をプリントするとともに、同一面側の前記上紙片65の折り用ミシン目62端に確認マーク71を宛名情報67の内容、またはシートのプリント順に対応づけてプリントする。次いで、表裏を反転した単片状シートを前述のプリント順と同一の順番でプリンタ（図示せず）に送って、所定のデータ順にしたがい、中紙片64の上紙片65側の重ね合わせ面側と下紙片66の重ね合わせ面側に通知情報69, 70をプリントするとともに、前記下紙片66の重ね合わせ面側における折り用ミシン目63と反対側の端縁に接して確認マーク72を、各通知情報69, 70の内容またはシートのプリント順に対応づけてプリントする。

【0032】作成された折り畳み用シート61は、プリントした表裏両面の各通知情報67, 68, 69, 70が対応するものであれば、各折り用ミシン目62, 63で中紙片64を上紙片65と下紙片66の間に巻き込んだ所定状態に各紙片64, 65, 66を三つ折りすると、図10に示すように、対をなす確認マーク71, 72が並列状態で位置することになる。一方、前記各情報67, 68, 69, 70が対応するものでない場合には、確認マークが対をなさないもので、並列状態に位置す



ることなくずれてしまう。したがって、図10に示す所定の折り畳み状態において、確認マーク71、72の状態を目視することによって、表裏面にプリントされた情報が互いに対応するものかどうか、プリント内容を確認するまでもなく、一目で確認可能である。

【0033】次に、図11～図13に基づき本発明の第5実施例を説明する。本実施例は上述した第1実施例の変化形で、基本構成は第1実施例の折り畳みシート1と同一であり、この折り畳みシート1を連続状態で通常の葉書として構成したものである。図11に示すように、折り畳み用シート81a、81b、81c・・・は、折り兼切り用ミシン目82を介して多数接続された連続状態にあり、幅方向両側には切り用ミシン目83、84を境にしてマージナル部85、86を設けここに等間隔において多数の移送孔87、88が透設されている。各折り畳み用シート81a、81b、81c・・・は、確認マークを除いては同一構成なので、以下折り畳み用シート81aの構成についてのみ説明する。

【0034】折り畳み用シート81aは、折り部たる折り用ミシン目89によって、宛名情報記載片90と通知情報記載片91とに区分され、前記通知情報記載片91は前記宛名情報記載片90のほぼ2倍の幅方向の長さを有している。図示してはいないが、前記宛名情報記載片90と前記通知情報記載片91の重ね合わせ面(図11表示面側)には、図1の感圧性接着剤層7と同一に構成された、接着後に剥離可能な接着力の弱い、かつ印字適性を有する感圧性接着剤層が設けられて、この感圧性接着剤層の上から通知すべき隠蔽情報92がプリントされている。また、前記通知情報記載片91の同一面側には隠蔽不要な通知情報93がプリントされるとともに、白抜き94の三角形形状の確認マーク94が折り重ねられる前記宛名情報記載片90の端縁に接する所定位置にプリントされている。この確認マーク94のプリント位置は、前記隠蔽情報92の内容に対応ずけて、またはシートのプリント順に対応ずけて、上端から何mmの位置というように決定され、適宜な記憶媒体に他のプリントデータとともに格納される。

【0035】一方、宛名情報通知片90の表出面側には、図12に示すように、宛名情報95がプリントされるとともに、折り用ミシン目89と反対側の端縁に接した所定位置に確認マーク96がプリントされている。前記確認マーク96のプリント位置は、上述の確認マーク94と同様に、前記宛名情報95の内容に対応ずけて、またはシートのプリント順に対応ずけて、上端から何mmの位置というように決定され、適宜な記憶媒体に他のプリントデータとともに格納される。そして、両確認マーク94、96は対をなすもので、対をなす確認マーク94、96は、プリント位置である上端からの距離が同一に設定され、前記折り畳み用シート81aを折り用ミシン目89で前記宛名情報95が表出するように折り重

ねた際に、並列状態に位置する(図12参照)ものである。

【0036】本実施例の折り畳み用シート81a、81b、81c・・・は、次の手順によって作成する。まず、折り用ミシン目89を有するとともに、宛名情報記載片90と通知情報記載片91に感圧性接着剤層(図示せず)が設けられ、折り兼切り用ミシン目82を介して多数接続された連続状態にあるシートを、あらかじめプリントデータが入力されているコンピュータの出力装置であるプリンタ(図示せず)に送り、所定のデータ順にしたがって通知情報記載片91の重ね合わせ面側に隠蔽情報92、通知情報93及び確認マーク94をプリントする。この確認マーク94は前記隠蔽情報92の内容、またはシートのプリント順に対応ずけた所定位置にプリントする。

【0037】この際、折り畳み用シート81aに隣接する折り畳み用シート81bには、黒色の星印を確認マーク97としてプリントし、さらに続く折り畳み用シート81cには、白抜きの正方形を確認マーク98としてプリントする。そして、確認マークは、図13に示すように、前記白抜きの正方形の確認マーク98に続いて黒色の円形、白抜きの星印・・・というように9種類の図形を順次プリントしていく。次いで、表裏面を反転したうえ同一の順番でプリンタ(図示せず)に送って、所定のデータ順にしたがって宛名情報記載片90の表出面側に所定の宛名情報95と、これに対応ずけた、またはシートのプリント順に対応ずけた確認マーク96、99、100・・・を順次プリントし、必要に応じてマージナル部85、86を切断除去するものである。

【0038】作成された連続状態にある折り畳み用シート81a、81b、81c・・・は、図12に示すように、連続状態のまま折り用ミシン目89で宛名情報95が表出するように折り重ねると、この宛名情報95と隠蔽情報92及び通知情報93とが対応するものであれば、対をなす確認マーク94と96、97と99、98と100が並列状態で位置することになる。一方、前記各情報95、92、93が対応するものでない場合には、確認マークは対をなさないもので、並列状態に位置することなくずれてしまう。したがって、図12に示す所定の折り畳み状態において、確認マーク94、96、97、99、98、100の状態を目視することによって、表裏面にプリントされた情報が互いに対応するものかどうか、プリント内容を確認するまでもなく、一目で確認可能である。

【0039】図12状態において、宛名情報記載片90と通知情報記載片91との重ね合わせ部分に所定の圧を加えると、その重ね合わせ面が感圧性接着剤層によって接着され、各切り用ミシン目82で単位状の折り畳み用シート81a、81b、81c・・・毎に切断して、葉書となすことによって投函可能となる。一方、この葉書



13

を受領した宛名人は、宛名情報記載片90を捲り上げて通知情報記載片91との接着面を剥離すると、隠蔽情報92を視認可能となる。

【0040】なお、本発明は上述した各実施例に限定されるものではなく、例えば、確認マーク11、13、28、30、55、56、71、72、94、96、96、98、99、100は図形以外に、文字、数字、記号、ロゴでもよく、同一のマークで対をなすほか、重ね合わせ面を重ねた時に、一つの文字、数字、記号、ロゴ、図形を形成するようにしてもよく、さらに、目視できるとともに光学的手段等の機械的読み取りによるチェックが可能なものでもよい。また、必ずしも対となる確認マーク11、13、28、30、55、56、71、72、94、96、96、98、99、100同士が互いに接するような並列状態になる必要はなく、間隔をおいた並列状態でもよいものである。さらに、折り畳み用シートへの同一性を有しない確認マークのプリントは、同一態様のマークをシートのプリント順に応じて順次プリント位置を代えるようにして行ってもよい。さらにまた、剥離可能な接着構造は、感熱性や再湿性の接着剤を基剤とした接着後に剥離可能な接着剤層でもよいほか、2枚の合成樹脂フィルムを剥離可能に疑似的に接着として、各合成樹脂フィルムを介して重ね合わせ面を剥離可能に接着する構成でもよい。

【0041】

【発明の効果】以上説明したところで明らかなように、本発明によれば、確認マークの状態を目視することによって、表裏両面にプリントされた情報の内容を確認するまでもなく、これら情報が互いに対応するかどうかを容易、かつ確実に判断できるという効果を奏する。

【図面の簡単な説明】

【図1】第1実施例を示す単片状態にある折り畳み用シートの通知情報表示面側の概略的な平面図。

【図2】同じく宛名情報表示面側の概略的な平面図。

【図3】同じく図1のA-A線断面図。

【図4】同じく折り畳み状態を示す概略的な斜視図。

14

【図5】同じく表裏面のプリント内容が対応していない場合の確認マークの状態を示す概略的な要部の斜視図。

【図6】第2実施例を示す単片状態にある折り畳み用シートの概略的な断面図。

【図7】同じく折り畳み状態を示す概略的な斜視図。

【図8】第3実施例を示す単片状態にある折り畳み用シートの概略的な断面図。

【図9】同じく折り畳み状態を示す概略的な断面図。

【図10】第4実施例を示す三つ折りシートの折り畳み状態の概略的な断面図。

【図11】第5実施例を示す連続状態にある折り畳み用シートの通知情報表示面側の概略的な平面図。

【図12】同じく折り畳み状態を示す概略的な斜視図。

【図13】同じく確認マークのプリント順を示す説明図。

【符号の説明】

1, 21, 41, 61, 81a, 81b, 81c

折り畳み用シート

2, 22, 42, 43, 62, 63, 89 折り用  
ミシン目

4 隠蔽部

5 通知情報記載部

6 返信用葉書片

7, 25, 47, 48 感圧性接着剤層

8, 9, 27, 49, 50, 51, 52, 92 隠  
蔽情報

10, 54, 68, 69, 70, 93 通知情報

11, 13, 28, 30, 55, 56, 71, 72, 9

4, 96, 97, 98, 99, 100 確認マーク

12, 14, 29, 53, 67, 95 宛名情報

23, 90 宛名情報記載片

24, 91 通知情報記載片

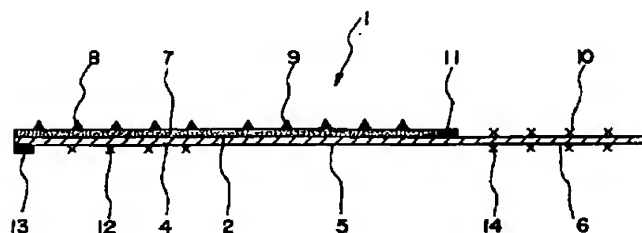
26 接着力調整層

44, 65 上紙片

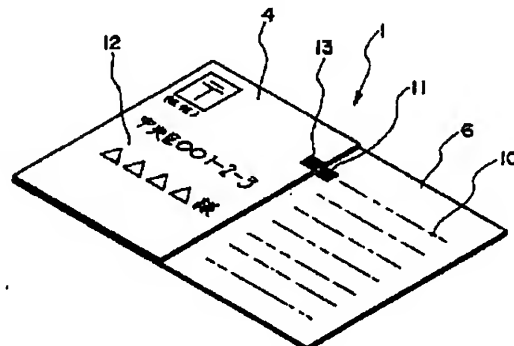
45, 64 中紙片

46, 66 下紙片

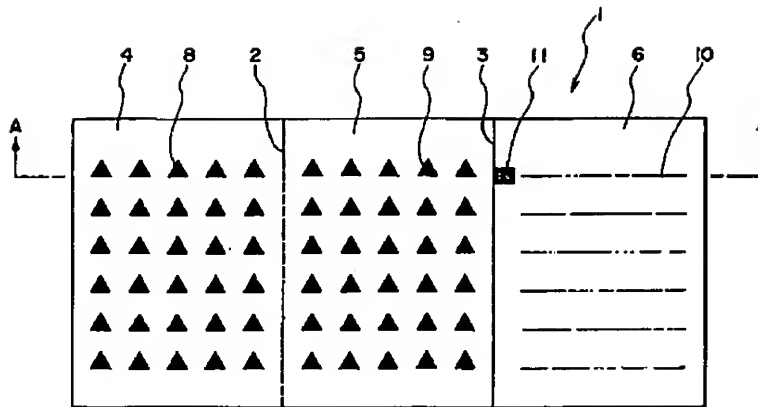
【図3】



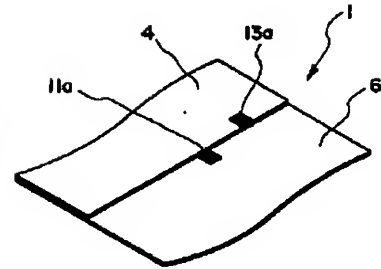
【図4】



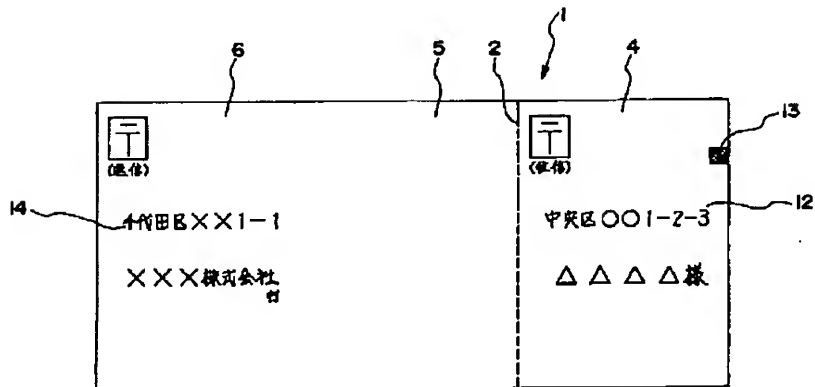
【図1】



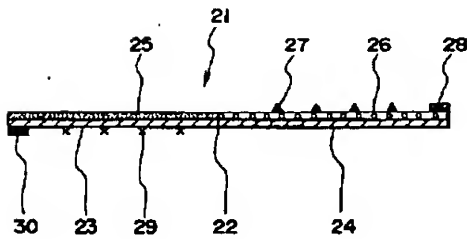
【図5】



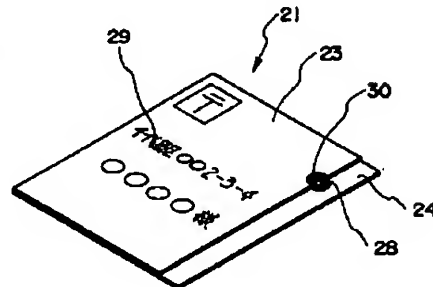
【図2】



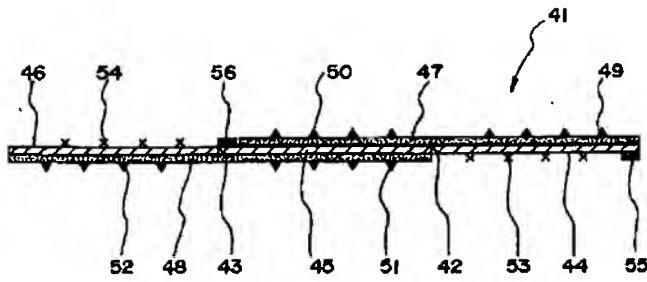
【図6】



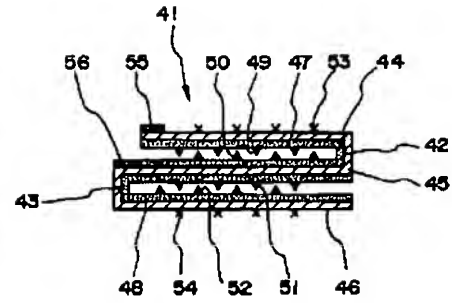
【図7】



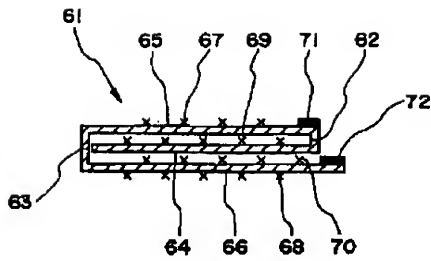
【図8】



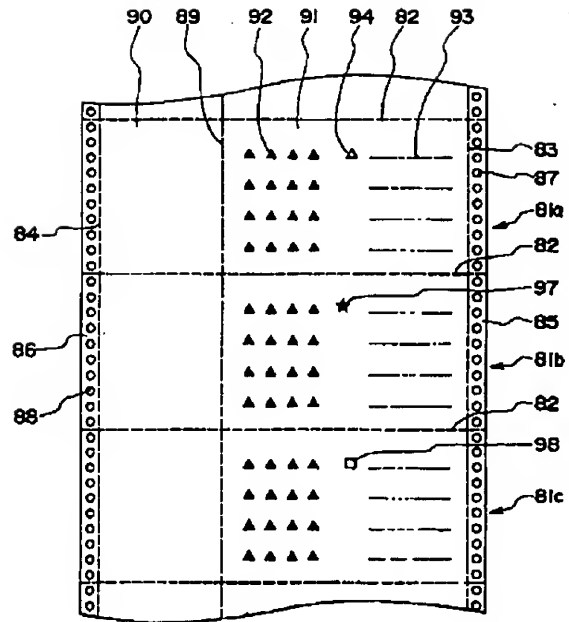
【図9】



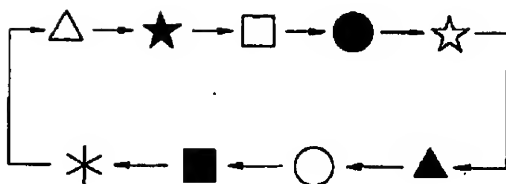
【図10】



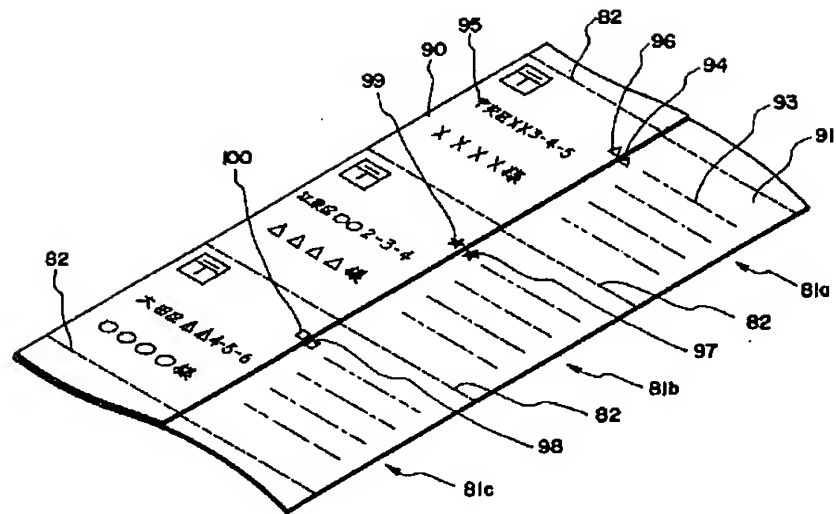
【図11】



【図13】



【図12】



PAT-NO: JP407214948A

DOCUMENT-IDENTIFIER: JP 07214948 A

TITLE: FOLDING SHEET HAVING PRINT DATA ON  
BOTH SURFACES THEREOF  
AND PRODUCTION THEREOF

PUBN-DATE: August 15, 1995

INVENTOR-INFORMATION:  
NAME  
SUZUKI, HITOSHI

ASSIGNEE-INFORMATION:  
NAME  
TOPPAN MOORE CO LTD

COUNTRY  
N/A

APPL-NO: JP06027360

APPL-DATE: January 31, 1994

INT-CL (IPC): B42D015/02, B42D015/08

ABSTRACT:

PURPOSE: To confirm whether the display data printed on both surfaces of a folding sheet correspond each other on both surfaces of the sheet from a folded state without seeing data content.

CONSTITUTION: A pressure-sensitive adhesive layer 7 releasable after adhesion is provided to the superposing surfaces of the concealing part 4 and information entry part 5 of a folding sheet 1 being a reply card folded along the folding perforation 2 to be printed with concealing data 8, 9 and reply

information data 10 and a confirmation mark 11 are printed on the reply card piece 6 on the same surface side while reply address data 12 and a confirmation mark 13 are printed on the surface of the concealing part 4 and reply address data 14 is printed on the reply card piece 6 on the same surface side. The respective confirmation marks 11, 13 are allowed to correspond to the print data on the same surface side or the printing order of the sheet to be set so that the printing positions thereof become the same distance from the upper end of the sheet and, if the print data on both surfaces correspond each other when the sheet is folded along the folding perforation 2, both marks 11, 13 are positioned in a parallel state.

COPYRIGHT: (C)1995,JPO